

## 令和5年度 TAMランド 栗東駅前園 自己評価

保育所保育指針において、保育士及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。  
そのことを踏まえ、TAMランド栗東駅前園では保育の質の向上を図る為自己評価を実地しました。  
評価の結果を踏まえ、次年度の改善に生かしていきます。

評価について 評価をするにあたっては、以下の基準で評価を行っています。

◎ →よくできている ○ →ほぼ出来ている △ →努力が必要

評価対象期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日

	評価	評価の根拠・改善内容
<b>1. 保育理念</b>		
保育理念・保育目標を理解し正しく説明することができる	○	
園目標や方針が保護者に知らされている	◎	
<b>2. 保育計画</b>		
保育計画を作成し、見通しを持った保育を実施している	◎	
年間計画・年間行事の見直しをしている	○	特に年長児について、初めての年長児ということで見通しが足りない点があった。
<b>3. 人権尊重</b>		
子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じる	○	職員に対し、子どもへの言葉がけの指導を行った。
<b>4. 個人情報保護</b>		
個人情報の取り扱いについて、入園時等で説明されている	◎	
業務上で知り得た子どもの情報に関する守秘義務について全職員で周知している	◎	
保護者からの相談内容について全職員で周知している	◎	
<b>5. 保育内容</b>		

遊びに入れない子どもや全体の様子に気を配っている	◎	
子どもが伸び伸びと思いを表現できるような保育が行われている	○	保育者主導の保育も、ときにあった。
遊びを通して、友達や保育士とのかわりが十分持てるよう配慮されている	◎	
遊びや生活を通して人間関係が育つような配慮をしている	◎	
身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている	○	地域との交流は、認可外の園として多いとは言えない。
園の行事や保育の内容が知らされている	◎	
<b>6. 保育環境</b>		
園以外が清潔で心地よい空間となっている	◎	
年齢に応じた保育が提供できるような環境になっている	○	園庭・プールなど、園児の規模に対して足りない物的環境ではある。
子どもが落ち着いて過ごせるよう、保育室の雰囲気・おもちゃが工夫されている	◎	
<b>7. 支援を要する子どもへの対応</b>		
配慮が必要な子どもの対応がされている	○	
<b>8. 保護者支援</b>		
意見や要望への対応ができている	◎	
職員が子育て等について話しやすい雰囲気や態度で接している	○	個別懇談を年間2回行っているが、それ以外にはあまり受け入れられていなかった。
<b>9. 安全対策・健康管理</b>		
保育中、体調への気配りや怪我等に対する配慮がされている	◎	

感染症の発生状況や注意事項等が知らされている	◎	
子どもの成長を把握している	◎	
不審者対策を行っている	◎	
<b>10. 食育</b>		
給食が楽しく食べられるよう工夫されている	○	よく食べているが、「楽しい」工夫はまだもう少しできることがある。
食育を通して子どもたちが食に興味を持っているようにしている	◎	
子どものサインを見逃さないようにしている	○	
アレルギー除去食の対応をしている	◎	
衛生管理の徹底をしている	◎	
<b>11. 地域支援</b>		
地域との関係が適切に保たれている	○	適切ではあるが、深くかかわれているとは言えない。
<b>12. 職員育成</b>		
研修会等職員としての質の向上に努めている	◎	

#### 園全体の評価

初めて6学年、定員いっぱいまでそろった令和5年度は、保育内容も充実し、またお泊り保育や運動会、卒園式など新しいことへも積極的に取り組むことができた。保育者も子どもたちののびのびと日々の遊びや行事を楽しんでいた。安全面からも大きなけがや事故はなく過ごせた。

#### 来年度の課題

同じように60名定員いっぱいの状態で、より以上の保護者との信頼関係、地域への貢献が子どもたちの成長につながる。そのことを念頭に置き、日々安全・安心の保育を行っていきたい。